

セッション1(1)

プライベートエクイティ—  
—投資機会と課題—

マーク・アンソン

目 次

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| 1. 当社 (Commonfund) の紹介 | 3. 新しい投資機会 |
| 2. PE業界の課題             |            |

1. 当社 (Commonfund) の紹介

当社は30年間にわたりベンチャーキャピタル (VC) とプライベートエクイティ (PE) への投資を行ってきた。1988年に最初のVC投資を行って以降、VC、PE、不動産、その他の非流動性資産への投資を、基本的に長期で行っている。

近年、PE投資について投資家から次のような質問を受ける。第一に、投資対象が割高ではないのか。第二に、ファンドサイズが大きくなりすぎてはいないか。第三に、良い運用会社にアクセスできているか。第四にPEはコストのかかる投資であることから、フィーのレベルは適切であるか。最後に、市場に常に過剰な投資資金があふれてはいないか。

これらの課題があるにせよ、長期の投資家にとってPEとVCは非常に良い選択だと私は確信している。多くの投資家は米国のインフレ率を5～6%上回るリターンを求めているが、当社はPE、VC、不動産の3分野に重点的に投資をして、それ以上のリターンを提供している。例えば、1999年に100ドルを上場株式に投資した場合、2017年には242ドルになるが、PE、VC、不動産に分散投資した場合は600ドルになる (図表1)。これは、年率530bps (5.3%) というアウトパフォーマンスである。この5.3%の一部は言うなれば非流動性プレミアムである。10～20年、流動性を犠牲にしてVC/PEファンドに資金を置いておけば、このようなプレミアムを得ることができる。ただし、長い期間、資金を預け続けるわけ



マーク・アンソン (Mark Anson)

コモンファンド (米国) 最高投資責任者。米国最大手公的年金であるカリフォルニア州公務員年金の最高投資責任者 (1999年から2005年) を経て、07年よりハーミーズならびに英国最大手私的年金基金であるブリティッシュテレコム企業年金にて最高執行責任者兼最高投資責任者、バス・ファミリーオフィスの最高投資責任者、ニュービーン・インベストメントの会長兼取締役投資本部長を歴任。ノースウェスタン大学ロースクールの社外取締役。CAIA協会の検定プログラムの教本を執筆するなど著書多数。コロンビア大学にて金融学博士号を取得。16年より現職。